

●AYA

■AYA ってなんでしょう：

AYA は Adolescent and Young Adult の頭文字からつくられた言葉で、思春期と若年成人を指します。

AYA は「あや」と呼び、10代後半から30代の世代をいい、「あや世代」といわれています。

■AYA 世代に何が起きているのか：

国立がん研究センターからH21年からH23年に新たに「がん」と診断された小児およびAYA世代のがん罹患率が公表されました。小児がんは0歳から14歳のがんを指し、AYA世代は15歳から39歳を指します。

★H21年からH23年のAYA世代のがん罹患率は人口10万人あたり15～19歳で14.2、20歳代で31.1、30歳代で91.1でした。

★これらの罹患率を日本全体の人口に当てはめると、1年間にがんと診断される15～19歳で約900例、20歳代で約4200例、30歳代で約16300例と推計されます。

★がん種別順位では20歳代では胚細胞腫瘍・性腺腫瘍が1位、30歳代では女性の乳がんが1位でした。今回のポイントはがんが30歳代より急激に増加していることです。そしてその主な原因は女性の乳がんであることです。

	1位	2位	3位	4位	5位
15～19才	白血病 (24%)	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 (17%)	リンパ腫 (13%)	脳腫瘍 (10%)	骨腫瘍 (9%)
20～29才	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 (16%)	甲状腺がん (12%)	白血病 (11%)	リンパ腫 (10%)	子宮頸がん (9%)
30～39才	女性乳がん (22%)	子宮頸がん (13%)	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 (8%)	甲状腺がん (8%)	大腸がん (8%)

※上記図表、内容は国立がん研究センターHPの「お知らせ一覧：H30/5/30」より引用しました。